

大会名称: 平成23年度ユニバーシアード女子日本代表チーム 第3次強化合宿(トルコ遠征)

開催場所: トルコ・イスタンブール

試合区分: No. 203 女子 練習試合

コミッショナー:

期 日: 2011(H23)年7月6日(水)

主審:

開始時間: 18:00

副審:

終了時間:

| | | | | |
|----------------|----------|--|---------|----------|
| 日本 (通算1勝1敗) | ○ 119 | 37 -1st- 21 24 -2nd- 3 28 -3rd- 16 30 -4th- 15 -OT1- -OT2- -OT3- | ● 55 | U-18エジプト |
|----------------|----------|--|---------|----------|

第3次強化合宿(トルコ遠征)第3戦目は、昨日に引き続き、U-18エジプト代表との試合となった。7月1日からゲーム続きの合宿で疲労もピークに達している状況だが、40分間徹底してプレッシャーディフェンスをかけ続けること、ディフェンスからブレイクの速い攻撃で得点すること、そしてスピードの中でターンオーバーを減らすことを大きな課題としてゲームに挑んだ。結果、後半のシュート率が2ptFG%⇒51.5%、3ptFG%⇒44.4%と、40分間スピードが落ちることなく、119-55で日本が勝利した。

第1ピリオド、スターティングメンバー#4天野、#5佐藤、#6栗原、#9阿部、#11園田と、3戦目も同じスターティングメンバーで試合開始。開始早々、#11園田のドライブ、ジャンプシュートが決まり開始5分で17-9とリードを広げる。そこで、日本はオールメンバーチェンジ。エジプトも昨日の敗戦からボール運びを工夫してくるが、日本のディフェンスを前にミスが続き、21-37と日本が16点リードで終了。

第2ピリオド、スターティングメンバー#6栗原、#8池内、#10藤岡、#12宮崎、#15橋詰。エジプトは昨日23得点をあげた#8が1on1を中心に攻撃するが、日本はハーフコートでも簡単にシュートチャンスをつくらせず、相手の得点を3点に抑える。一方、日本の攻撃は、ファストシュートは落ちるものの、#15橋詰らインサイド陣が積極的にリバウンド、ルーズボールに飛びこみセカンドチャンスをものにしていく。61-24と大量リードを奪い、前半を折り返す。

第3ピリオド、スターティングメンバー#4天野、#5佐藤、#7松澤、#8池内、#13伊集。エジプトのゾーンディフェンスに対し冷静に対応する日本は、#5佐藤のドライブ、連続3Pシュートでさらにリードを広げる。また、ディフェンスでも5分間無得点に抑え、エジプトはたまたらタイムアウトを要求。日本もメンバーを入れ替えて勢いが衰えることなく、89-40と日本リードのまま最終ピリオドへ。

第4ピリオド、スターティングメンバー#6栗原、#8池内、#10藤岡、#14篠崎、#15橋詰。最終ピリオドでも速い展開でのバスケットが落ちることなく、#14篠崎、#15橋詰、#6栗原とブレイクでの得点を挙げる。その後も#12宮崎、#13伊集らが積極的に走り得点を重ねる。昨日に続き、119-55で快勝した。

エジプト戦では大差での勝利となったが、ターンオーバーの多さなど課題が残る部分も見られた。これまでの課題に加え、もう一度高さに対しての対策も重点におき、次回のゲームにつなげていきたい。

次回は、7月7日18:00より、イスタンブール大学と対戦する予定。

担当者: ((財)日本バスケットボール協会)

(財)日本バスケットボール協会